

台湾宜蘭・瀨上姉妹ロータリークラブと協力ロータリークラブ合同支援 岩手県大槌町の震災で保護者を突然 失った少年少女35人に友情の手！

東日本大震災地大槌支援 樋ロータリークラブ(道又 台湾宜蘭(金慶州会長)・衛会長)、プロジェクト担当(佐々木寅夫委員長)を
瀨上(淡路徹会長) 姉妹ロ 通して、大槌小中学校等七
ータークラブと、協力作 校が支援対象。
ータークラブ合同プロジ
エクトで、愛称「海を越え
る友情の手プロジェクト」
を立ち上げている。

支援チームは、男鹿ロー
タークラブ(金井誠一
郎会長)、五城目ロータリ
ークラブ(山平秋明会長)、
男鹿北ロータリークラブ
(斉藤英二会長)、第二五四
〇地区世界社会奉仕委員
会。
支援先の窓口は岩手県大
槌町は被災から約九ヶ
月を過ぎた今なお、大震災
・大津波そして火災で全て
を失い壊滅的狀態にあり、
ほとんど仮設住居暮らし
で、ロータリー会員も例外
でなく、事務所も工場も店
舗も自宅も全て失い、しか
も会員が二人亡くなってい
る状況となっている。
身も心も、経済的にも全
てにあまりにも大きい深い
傷が木枯らしの吹きさらし
にある。声を出そうにも言
い知れぬ怒りがこみ上げ声
すらない。その声なき声を
聴こうにもあきらめに似た
るという活動。

購読なら湖畔時報

静寂と、目に見えない巨大
な閉塞感、息の詰まる大被
災地となっている。

そうした困難の中、「海
を越える友情の手 支え
合う絆」として、ロータリ
ーは地域を越えてつなが
り、支え合っている地元ロ
ーターアンの心に、同じ
境遇にある次世代の大槌を
なう少年少女の一人でも
多く、触れることで、かす
かでも希望のともしびを感
じ、これから生き抜く絆に
ふれて欲しいと願う支援活
動ともなっている。
ロータリークラブ合同支
援による義援金総額一二六
万円を十二月二十一日に大
槌ロータリークラブに送金。
年末年始の生活、行事他に
役立ててほしいと、愛と励
ましの支援活動が続いてい
る。